

「沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度実施要綱（仮称）（案）」に関する意見募集の結果

1. 意見募集期間

令和6年12月27日から令和7年1月27日まで

2. 意見提出の通数及び件数

通数：10通

件数：20件

3. 主な御意見の概要と県の考え方

No.	項目	件数	主な御意見の概要	御意見に対する県の考え方
①	3 定義	1	ファミリーシップの定義を「パートナーシップにある者とその双方又は一方と生計を一にする子（養子を含む。）、親等の近親者その他知事が適当と認める者（以下「近親者等」という。）を含めた家族の関係」としているが、家族の定義になぜ知事が決定権をもつのか説明してほしい。	子や親等の近親者以外にもパートナーシップにある者とその双方又は一方と生計を一にする家族がいる場合に、その方も家族として届出ができるよう「その他知事が適当と認める者」を含めております。
②	4 届出をすることができる方	1	戸籍上の同性カップル・異性カップルであることが問われておらず、誰にとっても使いやすい制度となっており、賛成する。	様々な事情により婚姻の届出をしない、あるいはできないカップルの日常生活の困りごとや不安を解消し、誰もが人生のパートナーと協力しながら、安心して暮らせる環境づくりを目指すため、戸籍上の性別、性的指向、性自認は問わないこととしております。
③	8 通称名の使用	1	トランスジェンダーなどで戸籍名を変更していないものの、生活の実態は異なる氏名を使用していることは多々あるため、賛成する。	多様な性を理由とする困難を解消するため、通称名の使用を認めています。
④	9 県が交付する書類	1	記載内容証明書の形状は、提出用の場合はA4用紙などで良いと思うが、提示用の場合は紙だと耐久性・利便性に不安があるのでカードが良い。	記載内容証明書の形状は、A4用紙を想定しております。受理証明書は免許証サイズのカードを予定しておりますので、提示の際には受理証明書を御活用ください。カードの素材については御意見を参考に検討してまいります。
⑤	パートナーシップ制度の活用	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーシップ制度を利用した際に、具体的にどのような効力があるのか。</li> <li>・パートナーシップ・ファミリーシップの証明書はどこでどのように使用できるのか。</li> </ul>	制度の届出者等が利用可能な県や市町村の行政サービスについて公表を予定しております。御意見を参考に、民間事業者が提供するサービスについても公表することを検討してまいります。
⑥	その他 民間事業者への制度の周知、働きかけ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体との連携だけでなく、民間の事業者（特に医療機関や不動産業者）への普及啓発の徹底をお願いしたい。</li> <li>・病院でパートナーの病状についての説明に同席ができるよう県医師会などに協力通知を出してほしい。</li> <li>・休暇や手当などの制度をパートナーシップ・ファミリーシップ関係となる職員にも適用するよう民間企業にも働きかけてほしい。</li> </ul>	性の多様性の尊重やパートナーシップ制度について、民間事業者へ普及啓発を行ってまいります。

No.	項目	件数	主な御意見の概要	御意見に対する県の考え方
⑦	県職員の福利厚生	1	県職員の福利厚生制度などに関する条例を改正し、休暇や手当などの制度をパートナーシップ・ファミリーシップ関係となる職員にも適用してほしい。	いただいた御意見について、担当部局と共有いたします。
⑧	県内自治体で既に制度を利用している場合の取扱い	1	既に県内自治体でパートナーシップの届出をしている場合、返還が必要か。併せて県にも届出することができるのか。	既に県内自治体でパートナーシップ制度に関する届出や宣誓をしている方も、県へ届出ができます。 また、県への届出を理由に、当該自治体へ証明書を返還する必要はありません。
⑨	制度利用者数等の公表	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、各市町村毎にLGBTQの人数を公表してほしい。</li> <li>・制度導入前に、各市町村毎に導入を求める人数を公表してほしい。</li> <li>・制度導入後は、毎月、届出した人数を公表してほしい。</li> </ul>	市町村毎の性的マイノリティの人数や導入を求める人数の把握は難しいと考えております。令和2年度に行った県民意識調査において、「今までに自分の体の性、心の性、または性的指向に悩んだことがある」と答えた人は全体で4.6%でした。 制度導入後の届出人数の公表時期について、いただいた御意見を踏まえ今後検討してまいります。
⑩	制度全般	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度」に賛成する。</li> <li>・県が制度を導入することを嬉しく思う。</li> <li>・パートナーと住民票を同じくしていないため、これまでパートナーシップ制度を利用できなかったが、県での導入で（メリットが）少し享受できるだろう。</li> <li>・パートナーシップ制度の導入により、活動家が沖縄にくるのは困る。</li> <li>・沖縄で同性婚の条例化を目的とするものなら、パートナーシップ制度には反対する。</li> <li>・届出を提出しやすい環境整備、婚姻関係を結べないことによる様々な不利益や生活上の困りごとの軽減・解消につながる制度となるよう努めてほしい。</li> </ul>	性の多様性の尊重に関しては、県民の中にも様々な意見があるものと認識しております。この制度の周知を図り、県民一人一人の理解を得ていく等、全ての県民がその個性や能力を十分に発揮し、個人の尊厳と多様性が尊重される社会の実現に向け、引き続き、取り組んでまいります。

その他